

2021
年度

日本肝臓学会
肝がん撲滅運動
市民公開講座

エキスパートが教える

最新の 肝臓病 エッセンス

京都府立医科大学
消化器内科学

森口理久
山口寛二
瀬古裕也
奥田佳一郎
伊藤義人

京都第一赤十字病院
消化器内科

藤井秀樹

肝疾患相談センター

相談員 太田祐香
事務局 三宅香菜絵

リーフレット発行にあたって



京都府立医科大学
消化器内科
教授 伊藤義人

新型コロナウイルスの流行により、2021年度の市民公開講座はWeb開催にせざるを得ない状況でした。9月25日の市民公開講座「エキスパートが教える最新の肝臓病エッセンス」のご視聴の機会がなかった皆様も多かったのではないかと思います。そこで、このリーフレットでは、市民公開講座の講師の先生方にウイルス性肝炎、脂肪肝、肝がんの講演内容をわかりやすくまとめて頂きました。ウイルス性肝炎は多くの患者さんが治る時代になりましたが、いまだ自身の感染に気づいていない方もおられることが予想されています。近年増加している脂肪肝の中には、お酒を飲まない方でも肝硬変や肝がんに進行するおそれのある非アルコール性脂肪肝炎(NASH)も含まれており油断禁物です。また、肝がんに対する新規治療薬が続々と登場し、その成績が各施設から報告されてきました。

このリーフレットが皆様のお役に立てば幸いです。



肝疾患相談センターのご案内

京都府立医科大学附属病院では肝疾患に関する不安や疑問を持つ方からの様々なご相談をお受けする「肝疾患相談センター」を開設しています。

- ◆電話番号 **075-251-5171** (直通)
- ◆受付時間 毎週火曜・木曜日 午前10時～12時、午後1時～4時
毎週 水曜日 午後1時～4時

ウイルス性 肝炎

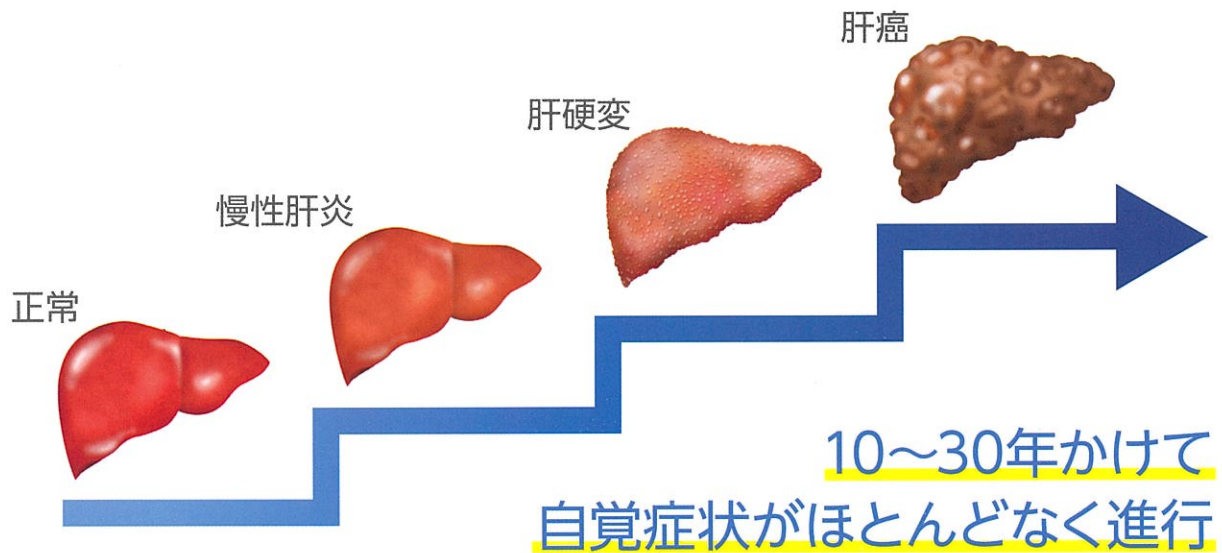
～担当：京都第一赤十字病院消化器内科 藤井秀樹～

POINT

- ・一生に一度はウイルス肝炎検査を受けましょう。
- ・肝臓は、症状がなくても進行していることがあります。

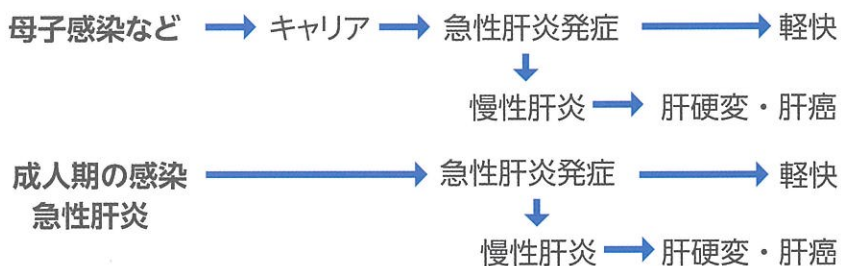
- ・体にやさしい治療ができる時代になりました。

慢性肝炎の経過



B型肝炎とC型肝炎の経過と治療

本邦のB型肝炎の感染後の経過と治療



慢性肝炎でも、飲み薬で病勢を抑えられる!

肝炎が抗がん剤や免疫抑制剤を使うことで再燃することがある(再活性化)

ワクチンで予防できる。

本邦のC型肝炎の感染後の経過と治療



慢性肝炎・肝硬変でも
2,3か月間の飲み薬の治療
(DAA 治療) で
95%以上の確率で治る!

非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD・NASH)

～担当：京都府立医科大学消化器内科 瀬古裕也～

POINT

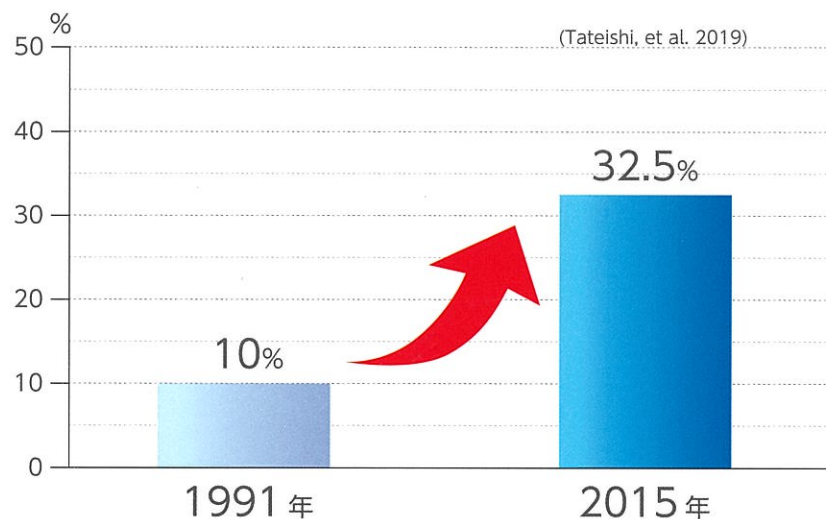
・脂肪肝から肝がんができることがあります。

・NASHにならないために7%の体重減少を目指しましょう。

・肝硬変、肝がんのリスクになるNASHかどうかを見分ける検査を受けましょう。

肝がんの原因は、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスからメタボリック症候群に変化しています。

非B非C
肝がんの
割合の変化



◆ 肝臓が硬くなっている方（線維化）、糖尿病の方は肝硬変や肝がんへすすんでしまう危険があります。

肝硬変、肝がんにつながるNASHではありませんか？

NASHの診断

採血
FIB-4 index

腹部超音波検査
ファイブロスキャン

MRI 検査

肝生検

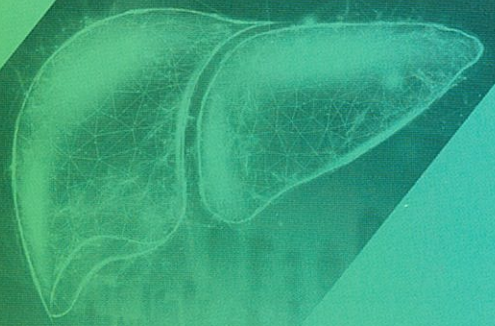
NAFLDの治療の基本は食事運動療法です。

まずは7%の体重減量を目指しましょう！

合併症の治療や新薬の治験も積極的に行っています。

肝細胞がんの診断と治療

～担当：京都府立医科大学消化器内科 奥田佳一郎～



POINT

・肝臓がんの治療は日々進歩し、使用できる治療薬も増えてきています。
・早期発見で治療の幅が広がります。

・肝臓が悪いと言われたことがある方は、肝臓がんの有無やリスク評価のため一度検査をご検討ください。

診断 血液検査や画像検査(CT・MRI・エコー)を用いて、がんの個数、大きさ、進展度を評価します。

治療 がんの状態、肝機能、全身状態などを参考にして治療法を決定します。

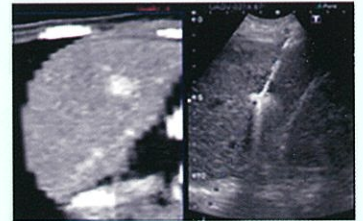
外科的切除

全身麻酔下に開腹または腹腔鏡でがんを切除します。

内科的治療

▶局所療法

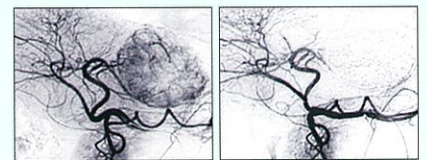
肝臓に特殊な針を刺し、ラジオ波で腫瘍を焼灼する方法(RFA)やエタノールを注入して腫瘍を壊死させる方法(PEI)などがあります。肝機能が良く、がんが3cm以下で3個以内の場合に行います。



RFA

▶肝動脈化学塞栓術(TACE)

細い管(カテーテル)を足の付け根の血管から肝臓の中まで進めて、腫瘍の中へ抗癌剤や塞栓物質(血管を塞ぐ薬)を注入します。主にがんの数が多い場合に行います。

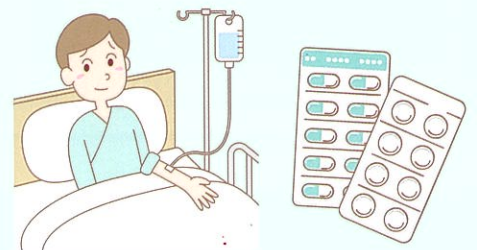


TACE前

TACE後

▶薬物療法

がんの進行を抑える薬を内服や点滴で投与します。
「ネクサバル」「スチバーガ」「レンビマ」「サイラムザ」
「テセントリク+アバスチン」「カボメティクス」があります。
肝機能が良く、手術や局所治療の適応がない場合に行います。



▶放射線治療

がん放射線を照射し病勢を抑制します。定位照射のほか、陽子線治療なども行われています。